

圃場の排水性や化学性の改善には、マメ科の緑肥作物が有効です！



マメ科緑肥作物は茎葉だけでなく、根も役に立つ！

【質問】 マメ科植物の根には‘コブ’のようなものがいっぱい付いていますが、これは一体何ですか？

【答え】 この‘コブ’は根粒菌がつくったものです。根粒菌はマメ科植物と‘共生’して、植物から栄養をもらって生きています。一方、根粒菌は、空気中の窒素を固定することができ、マメ科植物はこの窒素を利用しています。

根粒菌と土づくり

マメ科緑肥作物を育てて茎葉と根を土壤にすき込むことによって、根粒菌がつくった窒素が作物の栄養源となり、炭素率が低いので分解が早く、化学肥料を少なくしても作物がよく育ちます。つまり根粒菌は緑肥を‘天然の肥料’として利用できるようなにいるわけです。減肥が出来ます。

雪印種苗が推奨する、夏に播けるマメ科緑肥作物



『田助』の根と根粒菌



『ネマキング』の根と根粒菌



ネマコロリの草姿

| 品種名 | 草種名 | 主な特性 |
|-------|--------|--|
| ネマキング | クロタラリア | 各種線虫（キタネグサレセンチュウを除く）に抑制効果を発揮する線虫対抗作物 |
| ネマックス | クロタラリア | ネコブセンチュウ・ミナミネグサレセンチュウ・ダイズシストセンチュウ抑制効果が高い晩生品種 |
| ネマコロリ | クロタラリア | クロタラリア類の中では初期生育が極めて早く、ネコブセンチュウを減らす品種 |
| 田助 | セスバニア | 耐湿性が強く、直根性の根で深く転換畑の土壌改良が可能な品種 |